

平成28年6月30日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成28年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 6月30日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成28年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成28年6月30日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F ソアーベ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、会員等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

(1) 平成28年度事業計画・同予算&実施内容(5/28 総会配布資料)【資料1】

(2) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料2】

①4/6：第7回“美しき桜心の物語”の語り会(大田区・密蔵院大慈閣、語り部・平野啓子副会長) ※

②4/8：羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防：美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守、田村酒造場

③4/13：高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園

(3) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)【資料3】

4/29：第5回“美しき桜心の物語”の語り会(七十番・角館武家屋敷：語り部・平野啓子副会長)

(4) 多摩川“水”大学講座(5/27、6/17)【資料4】

(5) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施(5/26～)【資料5】

(6) 平成28年度総会開催(5/28)

(7) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/28～11/13)【資料6】

(8) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/1)

(9) 第44回調布市環境フェア出展(6/4)【資料7】

(10) 第9回多摩川一斉水質調査実施(6/5)【資料8】

- (1 1) 多摩川っ子 (第 9 号) 発行 (7 月上旬)
- (1 2) 多摩川 “水” 大学講座 (7/15、9/16)
- (1 3) 狛江古代カップ第 26 回多摩川いかだレース参加 (7/17) 【資料 9】
- (1 4) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成 28 年度総会開催 (7/27 岩手県盛岡市)
- (1 5) 多摩川親子カヤック体験教室開催 (7/23) 【資料 10】
- (1 6) 第 8 回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/23) 【資料 11】
- (1 7) 第 3 回 “多摩川酒蔵街道” のキャンペーン開始 (9/1～) 【資料 12】

4. 意見交換

- (1) 平成 28 年度活動計画等について 【資料 1】
- (2) 美しい多摩川フォーラム設立 10 周年記念事業 (平成 29 年度) について 【資料 13】
- (3) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成 28 年度第 1 回地域経済活性化部会を始めさせて頂きたいと思っております。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日はボサノヴァ・バージョンをお聞き下さい……。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。(京王電鉄の六車様については、遅参のため省略。)

(大田区 観光・国際都市部長 河野 秀夫 様)

河野と申します。多摩川下流域の行政として、今年度もよろしく願い申し上げます。4 月には、平野啓子さんの桜の語り会を大田区の密蔵院で開催していただきました。私も参加させていただき、素敵な思い出になりました。有り難うございました。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

西村と申します。4 月 1 日付で政策室に配属され、市の企画立案や広域連携の業務をさせていただいております。その広域連携の中で、多摩川流域 11 自治体イベントラリーにご協力いただくこととなりました。今後ともよろしく願いいたします。

2. 部会長挨拶

(菟田部会長)

今週は、東京都知事の問題がありました。住民の方々の熱い討論を見ておりましたが、討論が崩れない、ちゃんとなされていると思えました。民主主義の到達点です。

それでは、副部長からご挨拶をお願いします。

(堤副部長)

先般開かれた総会には沢山の方にご出席いただきました。フォーラムの活動は、3つの部会に分かれて行っておりますが、経済は独立して活動しています。今後10周年を迎え、100年に続いていくために、事業を回すという意味でも、部会の意味合いは大きいと思いますので、闊達な議論を期待しております。本年度も1年間よろしくをお願いします。

(薮田部長)

有り難うございました。本日のオープニングは「多摩川の歌」ボサノヴァ・バージョンでしたが、心がほっこりしたように感じます。また、少し眠たくなってきました。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)番の①をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(2) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料2】

①4/6：第7回“美しき桜心の物語”の語り会（大田区・密蔵院大慈閣、語り部・平野啓子副会長） ※

②4/8：羽村取水堰と玉川上水～福生多摩川堤防：美しい多摩川フォーラム、羽村市、福生市、リビング多摩、大谷桜守、田村酒造場

③4/13：高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園

- ・ 【資料2】をご覧ください。今年もリビング多摩様と連携し、くにたち桜守の大谷和彦さんをガイドに迎え、桜のガイド付ウォーキングを4月8日に実施しました。当フォーラムでは、羽村市様、福生市様と連携し、「玉川上水・多摩川沿いの満開の桜を巡り、途中で田村酒造場を見学し、地酒の試飲ができる」という人気の桜ウォーキングを継続実施しました。参加された皆さんは“桜”と“お酒”を

十分ご堪能されたようです。また、翌週13日の桜ウォーキングについては、今年も京王電鉄様と連携し、多摩森林科学園の吉丸前園長さんのご協力により、事前に桜のミニ講座を実施し、桜の知識や見所について丁寧に解説していただき、大変充実したイベントになりました。本件につきまして、サンケイリビング新聞社多摩本部の石河編集長様より一言お願いします。

(サンケイリビング新聞社 多摩本部編集長 石河 久美 様)

今年も桜ウォークを実施しましたが、内容は昨年と一緒で、羽村～福生のルートです。散り際の桜を堪能し、田村酒造さんで試飲し、近くの寿司屋でランチを食べて解散しましたが、参加者の満足度が高いイベントとなりました。今後も継続していきたいと思います。

(3) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料3】
4/29：第5回“美しき桜心の物語”の語り会（七十番・角館武家屋敷：語り部・平野啓子副会長）

- ・ 【資料3】をご覧ください。東日本大震災復興支援プロジェクトの一環として「第5回“美しき桜心の物語”の語り会」が秋田県仙北市の角館武家屋敷にある角館樺細工伝承館で開催され、今年も平野副会長にご出演をいただきました。

(4) 多摩川“水”大学講座（5/27、6/17）【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。今年度は府中市様との共催のもと、5月27日に開講しました。5年目となるこの講座ですが、講師には引き続き、小倉副会長にお願いし、この講座を通じて、水環境に関するリーダーの養成を目指します。

(5) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施（5/26～）【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。東急百貨店ホームページのトップページに紹介されているとおり、5月26日より、東急百貨店の本店をはじめ9店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」が開催されており、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。これは、東急百貨店様のCSRの一環として企画されたもので、今年で7回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立ております。皆さん、ぜひお早めにお買い求めいただき、フォーラムに還元していただければ幸いです。……ということですが、本日は事務局で多少ご用意がありますので、1個200円になりますが、お帰

りの際にお求めいただけたらと存じます。なお、お預かりした金額は、まとめて東急百貨店にお振込みさせていただきますことをご報告させていただきます。

(7) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力 (5/28~11/13) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。皆さん、ぜひお出かけいただき、チャレンジしてみたいかがででしょうか。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主事の西村様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

今回、ご協力いただき、有り難うございます。本イベントは、多摩川流域11自治体が主催するイベントにご参加いただき、スタンプを2つ以上集めると、商品が当たる抽選に参加できるというものです。自治体が相互にイベントを盛り上げられる形になっていきますので、よろしく願いいたします。

(8) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈 (6/1)

- ・ 青梅信用金庫では、本年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金の贈呈を6月1日に受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

(9) 第44回調布市環境フェア出展 (6/4) 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、第44回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査や美しい多摩川クリーンキャンペーンなどの環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(10) 第9回多摩川一斉水質調査実施 (6/5) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点のCODの調査結果を速報としてお届けするものです。今回も、上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで、多摩川水系の流域75地点の調査を実施しました。今回の調査にあたっては、当フォーラム公式ホームページに Google マイマップを活用した「多摩川一斉水質調査地点マップ」を掲載し、パソコンはもちろん、スマホやタブレットから誰でも採水75地点を閲覧できるようにしました。このシステムを導入するに当たり、渡邊環境清流部会長に全面的にご協力をいただきました。本当に有り難うございました。また、渡邊環境清流

部会長をはじめ、山崎運営委員、奥山アドバイザーにも、採水・測定のご協力をいただきました。今回の調査も、CODに加え、電気伝導率、水の濁りを調査する濁度・色度の測定を行いました。なお、詳細なCOD調査結果レポートは、例年どおり11月に発行する予定です。

(11) 多摩川っ子 (第9号) 発行 (7月上旬)

- ・ 今回で第9号になりますが、今年は7月7日に発行する予定です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

(13) 狛江古代カップ第26回多摩川いかだレース参加 (7/17) 【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。今回も、いかだには、狛江市長をはじめ、冬のオリンピック・金メダリストの荻原健司さん、当フォーラムのダニエル・カール副会長、狛江市職員、フォーラム事務局の5人が乗り込み、第1レースに出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしく願いいたします。

(15) 多摩川親子カヤック体験教室開催 (7/23) 【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年は7月23日に、青梅市カヌー協会のご協力のもと、リビング多摩様と共催します。なお、6月23日より受付を開始いたしました。本件につきまして、サンケイリビング新聞社多摩本部の石河編集長様より一言お願いします。

(サンケイリビング新聞社 多摩本部編集長 石河 久美 様)

このイベントは、毎年フォーラムでやっている「子どもカヤック体験教室」と「大人のカヤック体験教室」を合体させたものです。リビング新聞では、毎年子ども向けの夏の企画を行っており、ちょうど良いタイミングでお話をいただきましたので、今年リビング多摩とフォーラムの共催で行います。当初から沢山の応募を予想しておりましたので、先着順にはせず、ウェブで抽選としました。既に定員数には到達しておりますが、非常に人気のイベントになりそうです。

(16) 第8回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/23) 【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年は8月23日に、奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体験と水辺の安全学習を实践する、親子参加型の交流会を予定しております。なお、8月1日より受付を開始いたします。

(17) 第3回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～)【資料12】

- ・ 【資料12】をご覧ください。これは昨年のチラシになります。本年も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただけますよう調整していきたいと存じます。また、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」にも掲載いただけるように、調整を進めてまいります。さらには、今年も、はとバスさんや各旅行会社さんにツアーを組んでいただけるように取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。本件につきまして、小澤酒造株式会社取締役社長の小澤運営委員に一言お願いします。

(小澤酒造株式会社 取締役社長 小澤 順一郎 様)

このキャンペーンは、東京に酒蔵があることをご存じない方への認知、また、多摩川上流に観光客を呼んで、交流人口を増やす目的があります。そして、酒蔵は伝統的で文化的な施設であるということも同時に伝えることができる良い企画だと思えます。大変有り難く思います。

(事務局)

有り難うございました。事務局からの経過報告は以上です。

4. 意見交換(副部会長)

(1) 平成28年度活動計画等について【資料1】

(菫田部会長)

意見交換に入ります。はじめに事務局の方から説明してください。

(事務局)

はい、【資料1】の「平成28年度事業計画・同予算」をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,100,000円を見込んでおります。青梅信用金庫様より寄付金として8,000,000円、東急百貨店様より300,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、収入合計額は、12,726,566円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,470,000円、各種活動費として6,790,000円を計上しております。なお、東北・夢の桜街道運動として、例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金は1,466,566円となり、支出合計額は、12,726,566円となります。

次ページは平成28年度事業計画の主な実施内容、平成28年度事業計画の趣旨説

明、続いて主な事業活動の予定、会議&シンポジウムの予定になります。

主な事業活動の予定の11月をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンは、今年度新たに川崎市様と連携し、多摩川下流域でも実施することとなりました。

これにより、多摩川上流域、中流域、下流域で11月に一斉清掃が実現します。なお、毎年使用する可燃ゴミ用、不燃ごみ用のゴミ袋につきましては、小田急電鉄様にご寄付をいただいております。小田急電鉄株式会社CSR・広報部の早乙女課長様に一言お願いします。

(小田急電鉄株式会社 CSR・広報部 早乙女 尊幸 様)

我々の営業エリアは、行政区で言いますと、狛江市さん、川崎市多摩区さんになります。沿線では、お子様からお年寄りまで様々な方が多摩川に親しまれています。このゴミ袋は、フォーラムさんだけではなく、各自治体さんにも寄付しております。今年は、上流域から下流域まで清掃活動を行うということで、我々のゴミ袋が有効に使われるのは大変喜ばしい事です。我々も、ゴミ袋の提供だけに留まらず、実際にクリーンキャンペーンに参加できるようにしたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。今年は3会場で行いますので、皆様もぜひご参加ください。

(菟田部会長)

参加したい場合は、どこにアクセスすれば良いのでしょうか。

(事務局)

例年、企業様を中心に28団体まで参加が増えていて、企業様の中でも30～50人も参加するところもあります。今のところ、個人の参加は非常に少ないのですが、ホームページ等で告知していきたいと思います。

(菟田部会長)

有り難うございました。それでは、皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。ないようでしたら、美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業（平成29年度）について、事務局から説明してください。

(2) 美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業（平成29年度）について【資料13】
多摩川カヌー駅伝大会（青梅～昭島）開催に向けた今後の展望ほか

(事務局)

はい、【資料13】の「美しい多摩川フォーラム設立10周年記念事業に対するご意見の整理」をご覧ください。美しい多摩川フォーラムは、平成29年度に記念すべき設立10周年を迎えます。昨年秋より、各活動部会や運営委員会において沢山のご意見を頂戴しました。その内容を事務局で取り纏めたものがこの資料になります。

本日は、記念事業として採択したい候補事業につきまして、財源問題のクリアーが条件にはなりますが、緩やかな合意形成を予定しておりますので、よろしくお願ひします。その中で、本年3月に実施した「多摩川カヌー駅伝大会2016」につきましては継続実施を期待する声が多数事務局に寄せられております。始めに、カヌー駅伝大会のビデオをご覧いただきたいと存じますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

(藪田部会長)

「多摩川カヌー駅伝大会2016」のビデオをご覧いただきましたが、いかがでしたでしょうか。3月の寒い時期でしたが、成功裏に終わったようです。これを含め、先ほど事務局からも話があったように、本日は記念事業として採択したい候補事業について、財源問題のクリアーが条件になりますが、緩やかな合意形成を予定しております。それでは、堤副部会長から順番にご発言をお願いしたいと存じます。

(堤副部会長)

私自身もいくつか提案をさせていただいていますが、さきほど部会長からお話があったように、いくら10周年とは言え、予算に限りがあります。皆様方の熱い気持ちはあると思いますが、事業をおこなって少しでも多く戻ってくるような仕掛けを考えていただきたいと思います。そういった意味でも、カヌー駅伝は良いと思います。広域連携を良く表わしており、多摩川が舞台になっています。20周年の際には、2泊3日で多摩川流域の市町村をカヌーで全て巡れるようになれば良いと思います。例えば、カヌー駅伝を軸に、バスツアーがあったり、語りがあったり、花火があったりというような連携ができれば良いと思います。また、「多摩川夢の桜街道八十八カ所」については、かなり前に、桜の季節ではない時に、季節を通じて周れるようなポイントを探したいという発案があったと記憶しています。桜は季節が短いので、ぜひ夏・秋・冬も考えていただきたいと思います。酒蔵街道はありますが、もっと植物や鳥などと絡めたら良いのではないかと思います。子どもシンポジウムで、愛鳥博士の発表があるくらい、子どもたちの鳥に関する知識は素晴らしいものがあります。

(小野木副部長)

高齢化社会を考えると、カヌーのような動的なイベントも良いですが、「多摩の物語」の語り会のように、座って聞いていけば良い静的なイベントも良いのではないかと思います。

(奥多摩町 企画財政課 課長 若菜 伸一 様)

長期の目標の中に、「SLの復活運転」があります。大人だとすぐに無理だと考えてしまうのですが、奥多摩町の「子ども議会」では、「SLを走らせ、オリンピックに向けて観光客の誘致に繋げたい」という意見が出ています。毎年8月下旬に、8つの自治体の首長が、JR支社長と懇談する機会があるのですが、その時、奥多摩町長からこの話をさせていただきます。これは夢物語ではなく、かなり実現性のある話だと思っています。SLではなくても、ラッピング電車や、景色が楽しめるような特色ある中古の車両を走らせるなど、アイデアは色々ありますので、長期的視野で進めてまいりたいと思います。

(薮田部長)

今のSLの話について、何か事務局で補足説明等ございますか。

(事務局)

これまで水面下ではJRさんと話をさせていただいておりましたが、JRとしては、「SLは人気が高いので、『はい分かりました』とは行かない」とのことです。山梨でSLを走らせた時には、知事が何度か陳情に行ったそうです。そういう意味では、西多摩の連携協議会で議題として取り上げていただき、関連市議会が擁護すれば、展望が開けるとのことでした。

費用という意味では、SLそのものよりも警備にお金がかかるそうです。1日走らせるだけでも、距離にもよりますが、5千万円くらいかかるそうです。フォーラムや市民がボランティアで警備をするなど、熱意が一つの方向に集束していくことで実現できると聞いています。

しかしながら、せっかく奥多摩町さんからお話をいただいたので、一番可能性があるとするれば、青梅線沿線だと思います。今後もじっくりとお話をさせていただき、10周年では無理だとしても、しっかりステップを踏んでいきたいと思っています。青梅市には「青梅鉄道公園」がありますが、余り活かされていないと個人的に思っておりますので、その関係の財団とタッグを組むとか、以前小河内ダムを建設する際、C11という機関車を使い、「青梅鉄道公園」に保存されています。動態保存ではないので、すぐ動かせる訳ではありませんが。色々なアプローチは考えられますし、私としても、行政の方とお話できるのが一番の近道だと思っておりますので、青梅市さ

んや奥多摩町さん、青梅線沿線の行政の方と連携してやっていきたいと思います。

(薮田部会長)

有り難うございます。すぐには無理でも、今後実現に向けてじっくり進めていくとのことでした。では次の方どうぞ。

(小澤酒造株式会社 取締役社長 小澤 順一郎 様)

多摩川フォーラムという名前は知られるようになってきていますが、何をやっているのかまだ周知できていません。当フォーラムは、「多摩川をシンボルに流域が広域で連携する」ことだと思うので、そういう意味では「多摩川カヌー駅伝大会」は団体のイメージを伝えやすいのではないかと思います。カヌー駅伝自体は継続的に行う事業だと思うので、10周年としては、少し大々的に行えば良いのかなと思います。

(石黒 様)

「いかだ道を歩く」イベントは良いと思います。地域経済活性化を考え、市民が平常的に動けることを考えると、多摩川にちなんだ道を紹介するのが良いと思います。

(近畿日本ツーリスト株式会社 首都圏西団体旅行支店 課長 馬場 真人 様)

10周年事業をきっかけに続けられる事業が良いと思います。例えば青梅マラソンとタイアップをし、おもてなしを厚くしてリピーターを増やして数万人の規模にするとか、多摩川一万人釣り大会など、最初は参加者が少なくても、20周年には何倍にもなっているとか、「おもてなし」と「リピーター」がキーワードになってくると思っています。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発課長 梶田 俊樹 様)

カヌー駅伝大会を中心にやっていけば良いのではないかと思います。また、川に対する感謝とPRの意味で、清掃活動を大々的にやっても良いのではないかと思います。

(東京急行電鉄株式会社 CSR推進室CSR推進部環境課 課長 大東 一裕 様)

家族向け、子ども向けのイベントは既に実施されているようですが、我々の営業エリアである二子玉川から下流周辺ではそういった大きなイベントは少ないので、実施されると多摩川全体でやっているイメージが出るので良いと思います。クリーンキャンペーンについては、二子玉川でも毎月実施していますが、その後にBBQ大会をやるとか、お魚のことを勉強するようなイベントを加え、子どもが思い出に残るようなイベントに出来れば良いと思います。

(アルピン株式会社 平林 様)

なるべく子どもを中心としたイベントを行えば、次代を担う子どもたちの育成という意味でも、記念事業として良いのではないかと思います。

(青梅市観光協会 事務局長 水村 様)

100年木のように、シンボルになるような梅の植樹をお願いしたいです。また、青梅花火大会は当協会が主催しておりますが、冒頭で聞かせていただいた「多摩川の歌」のボサノヴァ・バージョンを、ナイヤガラを多摩川に見立ててBGMとして流したらどうでしょうか。来年からはTCNでライブ放映すると聞いています。BGMで流すことに費用はかかりません。

(京王電鉄株式会社 広報部 企画・環境担当 課長補佐 六車 勝哉 様)

遅参して申し訳ありません。私は環境と宣伝の2つを担当しております。最近、ネットの普及が盛んであることから、多摩川に関心のない方に関心を持ってもらう事が重要だと思っております。広告業界ではダイレクト広告を嫌う傾向にあります。キュレーションサイト等のメディアに、多摩川にちなんだ情報を発信してもらい、それをきっかけに多摩川に人を呼び込むことができるのではないかと思います。

(藤井 様)

2週間前、読売新聞に載っていましたが、ホテルを建てることに関して規制緩和するそうです。多摩地区の地域経済を抜本的に改善するには、御岳山が中心になると思っています。国立公園の高尾山がミシュラン3つ星を獲得していて、国立公園の御岳山が獲得していない、逆転現象が起きています。観光庁にアピールすれば、数年後には獲得できるかもしれません。

(菟田部会長)

有り難うございました。10周年には間に合わないでしょうが、発想としては必要だと思います。

5. 総括・閉会（部会長）

(菟田部会長)

時間が来てしまいました。本日は、何となくゆるやかな合意形成ができたかなと思います。今日はこれでお開きにします。有り難うございました。

以 上